

地獄絵図を再現 虫生広済寺 鬼来迎

因果応報・勧善懲悪を説く、全国でも珍しい古典的仏教劇「鬼来迎」。地獄の釜が開くといわれる8月16日、虫生地区広済寺で地元鬼来迎保存会のみなさんにより上演されました。

鎌倉時代から伝承される仏教劇をひと目見ようと、町内外から大勢の観客が訪れ、繰り広げられる地獄絵図に見入っていました。また、幕間では「鬼婆に抱かれた子どもは健康に育つ」と言い伝えのある「虫封じ」が行われ、赤ちゃんの大きな泣き声が場内に響き渡りました。



「大序」での閻魔大王(右)と俱生神(左)



「釜入れ」黒・赤鬼が亡者を釜でゆでる



「賽の河原」地藏菩薩が子どもの亡者を救い出す



鬼婆が赤ちゃんを抱く「虫封じ」



「死出の山」観音菩薩が現れ、亡者を救い鬼と問答を交わす



厳かに「舞台清め」

中台地区で受け継がれる伝統行事

中台神楽「中台梯子獅子」

立春から数えて210日の8月31日、中台大宮神社の境内で、台風を鎮め、五穀豊穡や悪霊払い、息災延命など祈願する「梯子獅子」が中台神楽保存会のみなさんにより奉納されました。

今年の演目は、「ヒョットコ」が寝ていた「獅子」を「玉」で釣る「玉じゃれ」で二人立ちの獅子舞により演じられました。

